

NEWS RELEASE

2020年10月1日
三菱UFJリース株式会社
株式会社三菱総合研究所
株式会社三菱UFJ銀行

福島県双葉郡浪江町でメガソーラー発電所の商業運転を開始
～福島県新エネ社会構想へ寄与する復興整備事業～

三菱UFJリース株式会社（代表取締役社長：柳井 隆博、以下「MUL」）、株式会社三菱総合研究所（代表取締役社長：森崎 孝、以下「MRI」）、株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員：三毛 兼承、以下「三菱UFJ銀行」）は、福島県双葉郡浪江町谷津田地区において、県内最大級の規模となるメガソーラー発電所の商業運転を開始しました。

MUL、MRI、三菱UFJ銀行の3社は、東日本大震災からの復興整備事業を支援すべく、福島県および浪江町等と協議を継続してきました。今般、MUL および MRI が出資する浪江谷津田復興ソーラー合同会社は、三菱UFJ銀行、株式会社東邦銀行を中心とした金融機関の資金支援を受け、本日、福島県双葉郡浪江町の谷津田地区で「浪江町谷津田地区メガソーラー発電所（以下「本発電所」）」の商業運転を開始しました。

本発電所は、東日本大震災からの復興整備事業として浪江町復興整備計画に正式に位置付けられたものであり、直ちに営農を再開することが困難な浪江町内の敷地約88万㎡（約88ha）を活用し、太陽電池出力約60MW、年間予想発電量約7,100万kWh／年の発電を行います。また、発電した電気は、福島県の復興を後押しするために2016年に策定された「福島新エネ社会構想」に基づいて福島送電株式会社が整備・運営する共用送電線を通じて売電を行います。

【浪江町谷津田地区メガソーラー発電所 全景写真】



【本発電所の概要】

事業出資者	三菱 UFJ リース株式会社（出資比率：81%） 株式会社三菱総合研究所（出資比率：19%）
資金支援者	株式会社三菱 UFJ 銀行、株式会社東邦銀行 他 金融機関
EPC*	大和エネルギー株式会社（大和ハウスグループ）
所在地	福島県双葉郡浪江町大字谷津田字上谷津田 28-1 他
敷地面積	約 88 万㎡（約 88ha）
太陽電池出力	60,192kW（約 60MW）
年間予想発電量 （初年度）	約 7,100 万 kWh／年 一般家庭約 14,500 世帯分の年間電力消費量に相当 （1 世帯当たり 4,892kWh／年で算出。太陽光発電協会 表示ガイド ライン（2020 年度）より）
竣工	2020 年 9 月 30 日

※ Engineering, Procurement and Construction の略。発電所やプラントの建設におけるエンジニアリングの設計、資機材調達、製作、建設工事を含む一連の業務を請け負う会社を指す。

本件に関するお問い合わせ先

三菱 UFJ リース株式会社
〒100-6525 東京都千代田区丸の内一丁目 5 番 1 号
コーポレートコミュニケーション部
電話:03-6865-3002 FAX:03-6895-5306

株式会社三菱総合研究所
〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目 10 番 3 号

【内容に関するお問い合わせ】

イノベーション・サービス開発本部 ビジネス開発グループ（担当 馬場、植田）
電話:03-6858-3593 メール:namie-ml@mri.co.jp

【報道機関からのお問い合わせ】

広報部
電話:03-6705-6000 メール:media@mri.co.jp